

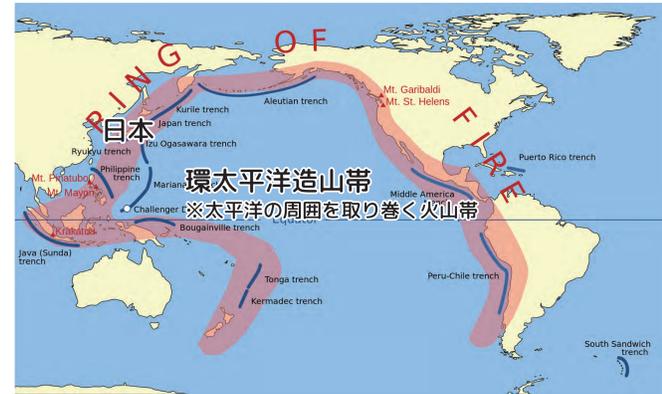
火山国日本 知って備えて楽しむ火山

日本列島の火山とは

日本は火山大国です。活火山の数は110もあり、世界の火山の7%は日本にあります。日本列島は変動帯(へんどうたい)にあります。

地球のマントルの動きによって、プレートが沈み込み、陸地も引きずり込みます。「地震」はその沈み込む力に耐えられなくなった陸地が急激に反発して起こります。また、「火山噴火」を引き起こすマグマは、沈み込んだプレートから水がマントルに浸み出すことで、マントルが溶けてできます。

日本には、地震や火山があることで地殻変動や浸食と堆積が起きるため、日本独特の地形を作り出します。

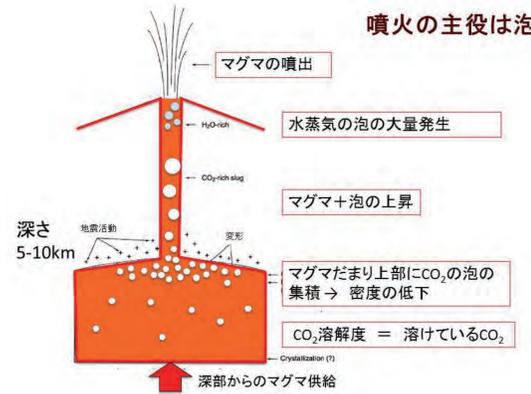


wikipedia

地震と火山の関係は?

地震活動がきっかけで火山体内部のマグマだまりが刺激されて、火山噴火にいたる可能性も否定できません。なぜなら、火山を引き起こすマグマのたまっている「マグマだまり」の圧力が、地震による地殻変動で下がってしまうと、マグマに溶けていたCO₂が泡になって、マグマが上昇しやすくなるからです。(図2)

熊本地震では、断層のずれが阿蘇山のカルデラ内部にまで達しました。そのため、阿蘇山の火山活動が活発化する心配があります。気象庁や大学では、火山活動の変化の兆しが無い観測を続けています。



名古屋市民に身近な「御嶽山(おんたけさん)」について

御嶽山は、2014年9月27日のお昼の11時52分、「水蒸気噴火」が起こりました。被害者は、死者行方不明者合わせると63人と戦後最悪の被害となりました。おそらく多くの愛知県民(名古屋市民)も登山していたでしょう。

今回の「水蒸気噴火」は噴火予知するには、非常に難しいです。明らかな地殻変動等の前兆現象は爆発の約10分前しかあられませんでした。次の噴火も「水蒸気噴火」の可能性が高いのですが、いつ起こるかは予想するのはまだ難しいです。

御嶽山には美しい自然や、たくさんの恵みがあります。火山を親しむためには、人はいつも最大の備えを持ち、各所からの情報を知って、火山へ向かうことが必要かもしれません。



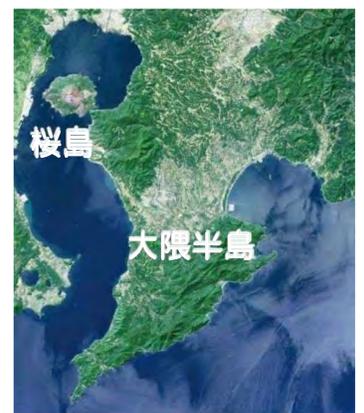
wikipedia

活発な火山「桜島」について

桜島は、年間1,000回以上の噴火があり、実は「世界で一番活発な火山」になります。実は、非常になめらかで美しい地形をもつ山ほど、活発な火山となります。(例えば、富士山も美しい姿をしており、活火山です。)

桜島は、1955年以来毎年休むことなく噴火している火山で、世界的にも珍しい火山です。鹿児島の人々にとって噴火や降灰は雨のように当たり前のものなのです。桜島の1914年の桜島大正大噴火(死者58人)では、大量の溶岩を流出し大隈半島と地続きになりました。

火山を親しむためには、人はいつも最大の備えを持ち、各所からの情報を知って、火山へ向かうことが必要かもしれません。



wikipedia

知っておこう!火山の多様性

火山は、日本には110もあります。噴火現象にも様々なものがあります。

水蒸気噴火
(爆発)



御嶽山など

マグマ水蒸気噴火
(爆発)



西之島(小笠原諸島)

マグマ噴火

溶岩ドーム



昭和新山

※粘性の高いマグマが火口から盛り上がるようにあらわれる。

溶岩流出



伊豆大島

※火口からマグマを流出。

ストロンボリ式噴火



阿蘇山

※火口から繰り返しマグマを放出。

ブルカノ式噴火



桜島

※火山灰,火山礫,火山岩塊を爆発的に大量に噴出。

ブリニー式噴火



北海道駒ヶ岳

※噴煙柱を空高く吹き上げる。